●Net64、ADSLにピンク電話を接続／ピンク電話でマイライン、国際、携帯&PHS

LPA−1　課金ダイヤラー
設置、取扱説明書

認証 A00-0410JP
特願 2000-007447
実新 第2046280

2005.04.01

おもな特徴

INSネット64、PBX内線、アナログ電話回線にピンク電話を接続できます。:
NTT硬貨収納サービス契約は、不要です。

契約したマイラインを選択発信:
通常のダイヤル操作で、契約したマイラインへアクセスします。

課金モード:
NTT公衆電話と同等の課金を設定（出荷時設定）すれば、割り増し課金、増収が可能。

電話機やFAXを外付けで接続:
外付け電話機やFAXからも、マイラインを利用できます。
他の機器を使用中は、ビジートーンを送出します。

携帯電話、PHS、国際電話も利用できます。:
一般電話回線を使用するため、上記のサービスを利用できます。

ナンバーディスプレイ対応:
Pてれほんのナンバーディスプレイ機能をそのまま使えます。
※一部TAは対応していません。

オンラインダウンロード:
移転、契約変更によるデータ変更は、センターよりダウンロード（有料）
カスタマーセンター 03-3764-4459

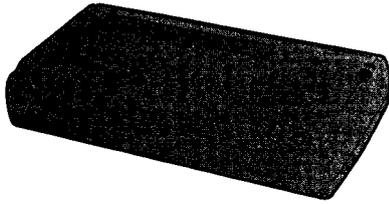
カスタマーセンター　03-3764-4459

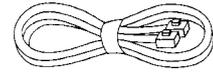
商品のご説明、技術的なご質問、ダウンロードはカスタマーセンターへ
受付時間　平日 9:00～12:00, 13:00～17:00

http://www.softandhard.co.jp
SOFT & HARD CO.,LTD
PHONE03-3764-4311　FAX03-3764-4313

足りないものはありませんか？

万一不足品があった場合は、お買い上げ店にご連絡ください。

●本体………1

●壁掛け用ネジ………2本

●ラインコード………1本
（電話用ラインコード：2メートル）

●取扱説明書，保証書………1部
本紙

●安全上のご注意………1部

■出荷時設定

市内	マイライン契約による。
市外（20km圏外）	マイライン契約による。
携帯、PHS	マイライン契約による。
国際	マイライン契約による。
LPAを設置する市外局番	ご発注時指定による。
課金パターン	NTT公衆電話とほぼ同等

■機器仕様

使用電源		AC100V 50/60HZ
消費電力	待機時	約6W
	Max	約10W
外形寸法（mm）		W250×D130×H52
重量（kg）		約1.2
使用温度		0～40℃
認証番号		A00―0410JP

オンラインダウンロードサービス 03-3764-4459

カスタマーセンターよりお客様の【LPA-1】へご要望を聞きながらオンライン設定致します。

ダウンロード設定料金表　　2005.04.01 現在

項目	料金
国内・国際回線新契約 NTTコム、フュージョン、MEDiA、KDDI BBフォン、C&WIDC、TTNeT	￥2,000 / 1回 （税別）
LPAを設置する市外局番変更	
国際コーリングカード	
割り増し、割り引き課金	

ダウンロードサービス受付時間

平日 9:00～12:00
13:00～17:00

（注）仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する事があります。

LPA-1 課金ダイヤラー 保証書

1. 保証期間内に取扱説明書に従った正常な使い方で万一故障した場合には、お買い上げの販売店を窓口として1年間無償で修理致します。
2. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
   ①お買い上げ後の取扱い不注意による損傷、故障。
   ②当社の技術者以外の方が修理・分解・調整・改造等をされたもの。
   ③火災・地震・雷・風水害・および指定以外の使用電源などによる故障、損傷。
   ④保証書のご提示が無い場合、所定事項の未記入または字句を訂正された場合。
3. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
   （This warranty is valid only in JAPAN.）

メーカー：**株式会社ソフト＆ハード**
東京都品川区南大井3-20-11-1F
TEL 03-3764-4311 / FAX 03-3764-4313

保証期間		お買い上げの日より1年間
お客様	お名前	
	電話番号	
	ご住所	
お買い上げ年月日		西暦 200　　年　　月　　日
販売店	ご住所 電話番号	
製造番号		

接続しましょう

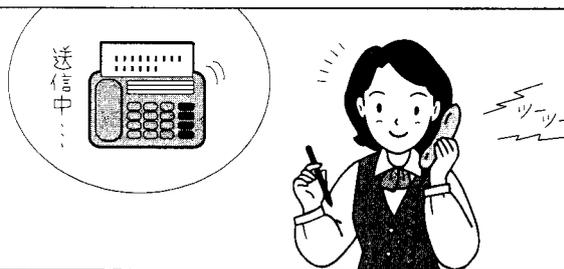
1. 電話回線〔またはターミナルアダプタのアナログポート(*1)、PBX内線(*2)〕とLPAのLINEジャック(L_1＋, L_2ー)を添付コードで接続します。
2. 電源を入れ表示LEDの点灯状態を確認します。
   早い点滅2秒 → 以後点灯……………極性は、正常です。
   → 以後遅い点滅………極性は、逆です。 → S.Swを反転し電源を再投入します。
3. 次にピンク電話をLPAの内2ジャックまたはネジ端子に接続〔L_1＋, L_2ー〕し、ピンク電話が正常に発・着信できるか確認します。(着信させるためにはディップスイッチ1をONにします。)NGの場合ピンク電話のコードを反転させます。
4. 次に外付け電話機〔またはFAX(*3)、PBX主装置(*3)〕を内1ジャックに接続(*4)します。
5. 契約したネットワークの内容及びLPAを設置する市外局番等の変更が有る場合はカスタマーセンターに連絡しダウンロード〔DL:有料〕します。DLは、LPAに接続した電話機またはピンク電話機に着信したら受話器を上げます。接続用PB音「プップッ…」に続いてビジートーンが聞こえたら受話器を戻します。1～5分でDLが終了し、表示LEDが点灯状態になります。
6. 市内、市外、国際及び携帯電話(*5)に発信し正しく接続できることを確認します。
7. 最後に、電源コンセントをリセットしLEDが点灯(点滅:不可)を再確認します。

(*1) 極性反転機能付きTA, PBX内線を使用します。
アナログポートに端末を2台接続不可能なTAの場合は、ピンク電話を着信否に設定します。
(*2) 極性反転しないTA, PBXは、ご利用できません。
(*3) FAX、PBX主装置には、機種により極性が有ります。
(*4) 外付け電話機接続用ジャック付きピンク電話〔Pてれほんの DCL他〕の場合:外付け電話機、FAXはピンク電話に接続します。
FAXの使用料金もピンク電話で徴収、内線通話や外線の保留転送ができます。
(*5) ピンク電話は機種により、携帯、PHS、国際の発信規制をしています。ピンク電話機の発信規制を解除します。

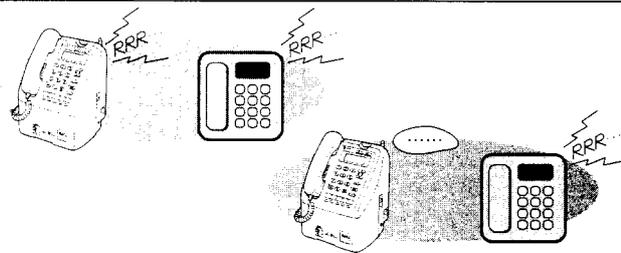
さぁ使ってみましょう

電話をかける(発信)

ピンク電話、外付け電話、FAXとも通常のダイヤル操作で
契約・設定した格安回線を選択発信します。

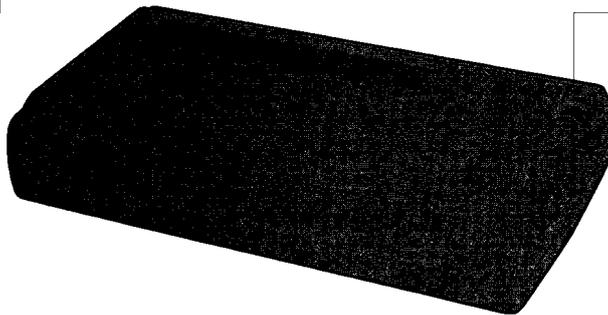
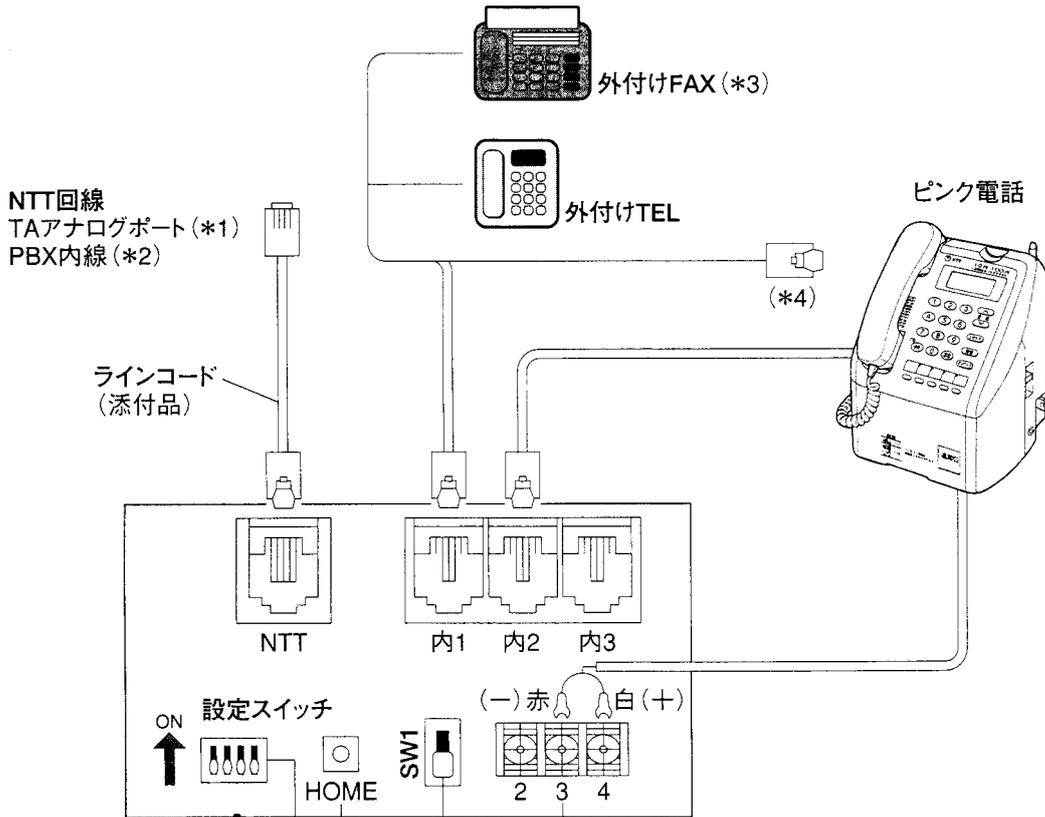
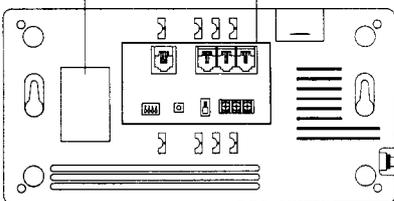
他の電話機を使用中は、ビジー音が送出されます。

電話を受ける(着信)

ピンク電話を着信可に設定している時:
ピンク電話、外付け電話の両方のベルが鳴ります。
先取り優先で通話できます。

ピンク電話を着信否に設定している時:
外付け電話のみベルが鳴ります。

電話を転送する

転送先の受話器を上げた後に、転送元の受話器を下ろします。
ピンク電話機の機種によっては操作が必要です。
ピンク電話機の機種によっては転送できません。

各部の名称と機能

表　面

動作モード	状態
電話回線接続済み 回線極性 → 正常 ダウンロード完了	点灯
通話中 電話回線未接続 回線極性 → 逆 ダウンロード中	点滅

No	内容	ON	OFF
1	ピンク電話の着信可否	可	否
2	着信信号感度切替（注1）	高	低
3	未使用		
4	未使用		

（注1）ピンク電話がオフフックできにくい時にON
（但しディップスイッチNo1がONの時のみ有効）